

タクラマカン砂漠(中国)で  
道路に沿って作られている草  
方格。砂で道路が埋もれるの  
を防ぐ



風で砂が吹き飛ばないよう、  
わら等で格子状の柵を作る草  
方格



# 砂と暮らし 砂に学ぶ

ITP  
だより

私は中国内陸部、寧夏回族自治区の騰格里沙漠南部に位置する沙坡頭で調査・研究を行っています。この地域では、内蒙古から蘭州までの鉄道建設のために、植林のほか、「草方格」による緑化を行

固定します。中国の砂漠化対策でよく用いられている方法です。砂漠化の進む中国では、放っておくと、鉄道や道路が砂に埋もれてしまいます。そのため、鉄道、道路に沿って草方格を作り、砂の

## 草方格による砂漠緑化

っています。

草方格とは、稲わらや麦わら等を約1×1mの格子状に差し込んで、風による砂の移動を軽減させる方法で、植物を固定・定着させることができます。草方格に用いられるわらはは、3～5年ほどで自然に分解され、分解後は、その間に生育した植物の根っこが砂を

移動を止めているので

す。

この技術は、砂漠化の問題を抱える国々で注目を集めており、将来世界の各地で砂を固定するために使われるようになるかもしれません。

(鳥取大学大学院農学研究科学生・窪田慎一)

(水曜日に掲載)